



2026年3月26日

各 位

会 社 名 株式会社 ジェーション
代表者名 代表取締役社長兼会長 太田 万三彦
(コード番号 3080 東証スタンダード市場)
問合せ先 専務取締役管理本部長
兼経営企画室長 山田 仁夫
電 話 04-7193-0911

特別損失（減損損失等）の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年2月期（2025年3月1日～2026年2月28日）において、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりました。併せて、2025年7月14日に公表いたしました通期連結業績予想を修正する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上

連結子会社である株式会社サンモール（以下「サンモール」）は、主力店舗が属する地域における競合他社との競争激化に伴う集客数の鈍化等により、当初想定していた収益計画に乖離が生じる見通しであり、同社の株式取得時に発生したのれんおよび同社が保有する一部の有形固定資産について、減損損失を計上する見込みとなりました。また、のれんの減損損失の計上に伴い、当社が保有するサンモール株式および同社の債務超過額について、特別損失を計上する見込みとなりました。

当該事象の発生により、2026年2月期の連結決算において、のれんの減損損失166百万円、有形固定資産の減損損失159百万円を特別損失として計上する見込みです。また、個別決算において、子会社株式評価損232百万円、関係会社事業損失引当金繰入額151百万円を特別損失として計上する見込みです。なお、個別決算における特別損失は、連結決算では消去されるため、連結業績への影響はありません。

2. 通期業績予想数値の修正について

(1) 連結業績予想数値の修正（2025年3月1日～2026年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	29,900	410	440	230	17.95
今回修正予想（B）	28,600	196	243	△207	-
増減額（B－A）	△1,300	△214	△197	△437	-
増減率（％）	△4.3	△52.2	△44.8	-	-
（ご参考）前年実績 （2025年2月期 通期）	28,297	538	573	345	26.97

(2) 個別業績予想について（2025年3月1日～2026年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績（A）	28,378	441	480	285	22.29
当期業績予想（B）	27,275	152	194	△300	-
増減額（B－A）	△1,103	△289	△286	△585	-
増減率（％）	△3.9	△65.5	△59.6	-	-

3. 修正の理由

売上高については、サンモール売上高の加算や、好調なPB販売等が寄与したものの、仕入れ環境が総じて厳しく、前年同期比微増収にとどまる見通しです。利益面については、M&A関連費用や減価償却費の増加等に加え、競争環境が極めて厳しいサンモールの業績不調が収益を圧迫したことなどにより、前回発表の業績予想を下回る見込みとなりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益については、特別損失として上記の減損損失を計上することに伴い、当初予想より下方修正し、上場来初の赤字となる見通しです。なお、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の修正はございません。

4. 今後の見通しおよびキャッシュフローへの影響について

今後も引き続きローコスト経営をベースに、仕入れ強化、PB商品の拡充をさらに加速させるとともに、サンモールとのシナジー創出に注力し、グループ全体の収益力向上に努めて参ります。

今回の特別損失計上は、財務の健全性維持を目的とした保守的判断による一過性の赤字であり、キャッシュフローや事業運営への影響が限定的であるとともに、来期以降の償却負担を軽減させるものです。

（注）業績予想につきましては、本資料発表日において入手可能な情報および合理的と判断する前提に基づいており、実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

以上